

日本社会事業大学
北関東・宮城水害支援ボランティアバス活動記録

[日 時] 2015年9月21日(月)

[活動場所] 栃木県鹿沼市

[参加者] 学部生18名、職員1名(数間文夫)、教員1名(菱沼幹男)

[活動日程]

5:4	大学集合
5	大学出発
6:0	鹿沼市 着
0	イチゴ農家のビニールハウス内の泥撤去 活動終了
9:10	鹿沼市社会福祉協議会へ挨拶後、帰路へ 大学着、解散
15:00	
15:15	
19:30	

今回のボランティアバスは、大学教職員のカンパと同窓会からのご支援により運行することができました。活動受入先は、本学卒業生の菊池浩史さんが勤務している鹿沼市社協に依頼し、快く引き受けて下さいました。お世話になった方々に感謝申し上げます。

被災された方々が一日でも早く、安心して生活できるようになることを願っております。

6:00 貸切バスで大学を出発





9時過ぎに鹿沼市へ到着。現場担当(鹿沼市へ応援に入っている NPO スタッフ)の方から作業の説明を受けました。



15時作業終了。大きなハウスであったため、全ての泥を取り除くことはできず、翌日以降のボランティアに託しました。



作業内容は、イチゴ農家さんのビニールハウス内に体積した泥の撤去でした。



残念ながら残っている苗は全滅とのこと。大切な農地であり、手作業で泥を取り除いていきました。



地元の高校生や一般ボランティアの方々と一緒に活動を行いました。



このハウス内の泥は川の氾濫ではなく、山から流れ込んだものであり、かなりの厚みがありました。



帰りに鹿沼市社協へ立ち寄り、卒業生の菊池さんが学生達に声をかけて下さいました。